

痛っ！

青鉛筆



▽日頃触れる機会の少ない瓦に親しんでもらい、瓦ぶき作業や瓦職人を知ってもらおうと、福岡県瓦土工組合が3日、福岡市で瓦割りのイベントを開いた。

▽この日は180枚を用意。厚さ2センチほどの瓦に、子どもから大人までが気合を入れて握り拳を振り下ろした。うまく割れず、痛そうに顔をしかめる人も。

▽使われた瓦は屋根のてっぺんに積む「のし瓦」。もともと現場で使うには2枚に割る必要があり、組合理事長は「みなさんに仕事をしてもらいました」。